

# 輝け！天神山っ子Ⅱ

Ⓟ



令和5年9月28日(木)

コミュニティスクール春日市立天神山小学校

NO17 校長 月原 浩

令和5年度 CS 春日市立天神山小学校 重点目標

「仲間」とつくる 素敵な1日

～気づき・考え・行動する～

## コミュニティスクールに感謝・・・2



先週、地域コーディネーターの松永さんと前学校運営協議会会長の藤井さんが校長室に来られました。何をしに来られたかという『天神山小学校放課後子ども教室「アンビシャス広場」』を行いたいと熱い思いを語りに来られました。

皆様もご承知の通り、本年度、毎週水曜日を午前中5時間、全校14時15分下校としました。この時制にしたのは、一番は働き方改革です。週の真ん中に学習の準備や事務仕事をできる時間を確保できれば職員にとってより良い環境になるのではという思いです。もう一つ、放課後、子どもたちを家庭や地域に返し、遊んだり、体験活

動をしたりする時間になればと思つてのことです。

松永さんや藤井さんは、この水曜日の放課後、子どもたちのために何か受け皿になるものを創りたいという思いをもとに、『天神山小学校放課後子ども教室「アンビシャス広場」』を立ち上げられました。詳しくは後日プリント等でお知らせがあると思いますが、毎月第3水曜日の午後14:30～16:00までの時間に、小学校の体育館や多目的ホールを使い、紙ヒコーキや縄跳び、スライムなど・・・様々な催し物を実施していくそうです。早速、第一回目を10月18日に体育館で、白水児童センターご指導の下、「パラバルーン&スライム」を行ってくださいます。

子どもたちのために、地域の方々から声上がり、学校は場所の提供と緊急連絡先としての窓口。とても望ましいコミュニティスクールとしての在り方だと思つました。24日(日)に私は、「地域で子どもを育てる交流会」に参加してきました。どの地区も様々な団体の人材を受け継いでいくことが課題としてあげられていました。そのような中、西中ブロックで行事のリーダーを6年生に任せ、それに中学生や高校生のOBが自主的に関わってくれている、という報告がありました。これは天神山地区も同じシステムがあるなと思つました。更に天神山には「天友会」という組織があります。これは他校のおやじの会とは一線を画し、男性女性、さらにはお子さんが小学校に在籍も問わず、この地域のために頑張つて下さっている方々です。

このような組織、システムがあれば、地域に育てられ、地域を愛し、そして地域に生きる、または戻ってくるような天神山地域になるような気がします。天神山小学校のコミュニティスクールは、本当に素敵だなと思つました。